

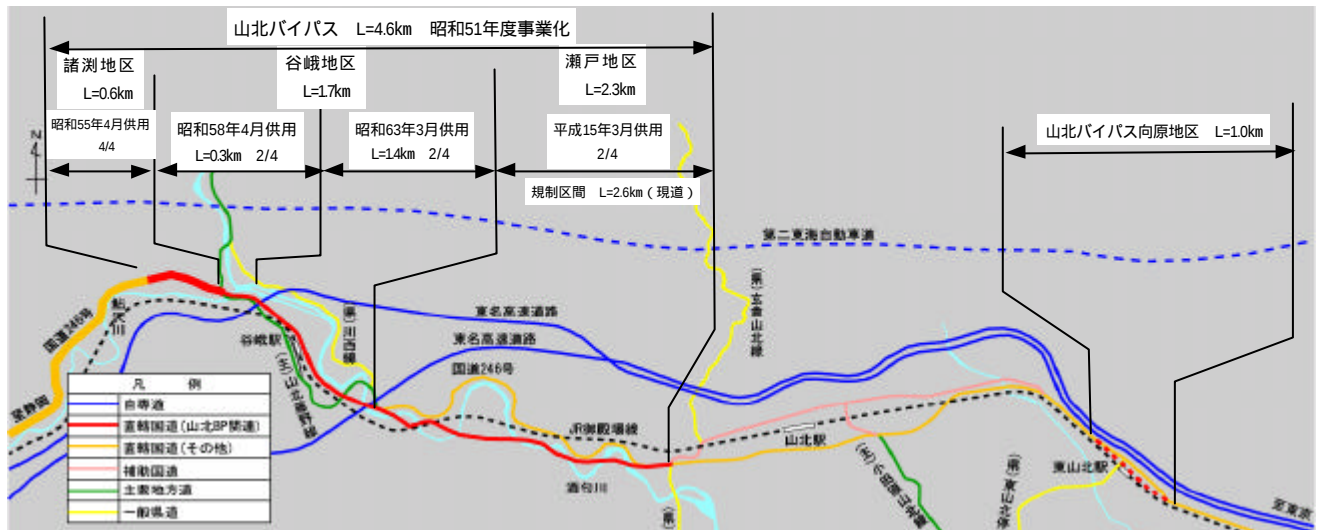
## 5 . 事業の進捗

### ( 1 ) 当初の予定

山北バイパスは線形改良及び異常気象時の通行規制区間解消を目的に計画されたバイパスで、昭和 5 1 年度に事業化し、諸漕地区、谷峨地区、瀬戸地区の順に順次供用し、異常気象時の通行規制区間を順次解消することとしていました。向原地区についても線形改良を目的に昭和 61 年度に事業化し、整備を促進することとしていました。

### ( 2 ) 現在の状況

|        |                                              |
|--------|----------------------------------------------|
| 全体事業費  | 約 5 0 0 億円                                   |
| うち用地費  | 約 4 0 億円                                     |
| 執行済み額  | 約 2 8 0 億円                                   |
| うち用地費  | 約 3 0 億円                                     |
| 供用済み延長 | 4 . 6 k m ( L=0.6 k m(4/4), L=4.0 k m(2/4) ) |



### ( 3 ) 今後の予定

瀬戸地区現道部分の整備を平成 1 5 年度に行い、平成 1 6 年度に神奈川県に管理移管します。向原地区については、平成 1 8 年度の暫定供用を目的に、用地取得及び工事を促進します。また、谷峨地区及び瀬戸地区については、周辺道路の整備状況や交通状況を鑑みて 4 車線化の適切な整備時期について検討を行っていきます。